

お口の 健康情報室

歯科医院でむし歯を削った後に歯型を取られることがあります。これを歯科用語で「印象を採る」と言います。これまで、トレーに盛った石膏系やシリコン系の素材を口の中で歯に当て、数分待つて取り外すことで印象を採取していました。採った印象に石膏を流して歯の模型を作り、これを「歯科技工所」に送るところで、歯のかぶせ物などを作っていました。

最近はこの印象を採る作業でデジタル化が進んでいます。「光学印象」という新技

光学印象 歯型作成の新技術

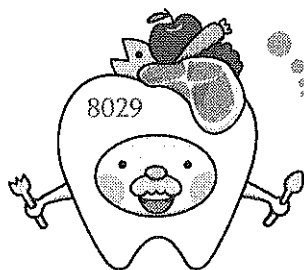
術で、使用している医院はまだまだ少ないですが、マウスピースを使った矯正治療を行う医院では見かける機会が増えていきます。昨年頃から一部のかぶせ物には保険が適用されるようになり、一般の保険治療でも見られるようになっていきます。

光学印象は、カメラと光を駆使して歯の形を再現する技術です。デジタルスキャンしたデータを3Dプリンターで印刷するようなもので、歯の被せ物も3Dプリンターで作ることが可能になりました。口の中に入れられる小さなカメラで歯を撮影するだけで、印象を採ることができるのです。

従来の方法では歯型の模型に使った材料の処分に費用が

かかり、模型の保存場所も必要でした。模型を技工所に送る運搬費用もかかります。一方、光学印象はデジタルデータのため、クラウドで技工所と共有すれば、実物を輸送することなく、すぐにかぶせ物を作る作業を始められます。時間や場所などのコスト削減につながる光学印象は、画期的な技術革新なのです。

(千葉県歯科医師会)



「8029運動」PRキャラクター もぐい